

秋季企画展「イワシとニシンと兵庫津の商人 —江戸時代、サカナは肥料だった—」のみどころ

江戸時代には、イワシ・ニシンが肥料として重宝されました。魚肥（干鰯や鯡粕）に加工されて木綿や米の肥料となり、生活に欠かせない綿織物や酒が作られました。江戸時代後期の兵庫津は、北海道の魚肥を積んだ北前船や魚肥を買う尾州廻船でにぎわう港町でした。

本展では古文書や歴史資料を展示して江戸時代の兵庫津のようすを紹介し、海のめぐみと人々との関わりをひもときます。

■魚肥をあつかった兵庫津商人や、魚肥が育んだひょうごの産業にまつわる古文書・錦絵など約50点を展示

- 伝統的なイワシ漁を描いた絵画資料
 - 兵庫津商人ゆかりの古文書や歴史資料
北前船模型 天昭丸、車田家文書
 - 魚肥が育んだひょうごの産業を紹介
ひょうごの米と灘の酒造業、綿から糸をつむぐ民具と木綿製の作業着
- ※別紙「主な展示資料」をごらんください



伝統的なイワシ漁を描いた絵画資料
(兵庫県漁具図解、関西学院大学図書館所蔵)

■兵庫津での魚肥売買のようすが分かる古文書の、地元兵庫津での里帰り展示が実現

- 宝塚市立中央図書館市史資料室所蔵 車田家文書
(13点を展示予定)



兵庫津にも立ち寄った和船の精巧な模型
(北前船模型 天昭丸 神戸大学海事博物館所蔵)

■江戸時代の兵庫津が分かる講演会の開催(参加無料、要事前予約)

- 特別講演会 江戸時代の尾州廻船と兵庫・大坂
日 時 10月27日(日) 13:30~15:00
講 師 曲田 浩和氏 (日本福祉大学経済学部教授)
会 場 ひょうごはじまり館3階 研修室
- 講演会 江戸時代のイワシ・ニシンと兵庫津
日 時 11月9日(土) 13:30~15:00
講 師 加納 亜由子 (当館学芸員)
会 場 ひょうごはじまり館3階 研修室



兵庫津商人の古文書 (宝塚市立中央図書館市史資料室所蔵 車田家文書)

■江戸時代の魅力に出会える体験イベントの開催(当日自由参加)

- イベント 江戸時代を楽しもう
むかしの機織り体験、古文書風メモ帳づくりなど
日 時 11月24日(日) 11:00~15:00
会 場 ひょうごはじまり館2階/初代県庁館



古文書風メモ帳

この企画展は船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」の支援を受けて実施します。